

昭和の歴史に輝いた
「音と映像の保存庫」展示商品カタログ

米国ビクタートーキングマシン社誕生から100年...



1898年



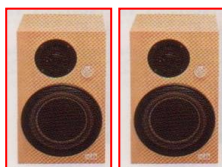
1902年



1956年



1964年



1972年



1976年



1952年



2002年

日本ビクター株式会社 音と映像の保存庫

目 次

* ビクターマークの由来と秘話	3
1. オルゴールから蓄音機	4
2. 蓄音機の円熟期	5
3. 電気蓄音機からHi-Fiステレオ	6
4. アンサンブルステレオの黄金期	7
5. システムコンポからミニコン	8
6. 単コン時代のスピーカー	9
7. 単コン時代のアンプとチューナー	10
8. 単コン時代のレコードプレーヤーとCDプレーヤー	11
9. 単コン時代のオープンデッキとカセットデッキ	12
10. テープレコーダの初期	13
11. 真空管式ラジオの進化	14
12. トランジスターラジオの進化	15
13. ラジオ付きカセットレコーダー	16
14. CDラジカセと隙間商品	17
15. 録音機の変わり	18
16. 白黒テレビのスタート	19
17. 白黒テレビの発展型	20
18. 白黒テレビの終焉	21
19. 真空管カラーテレビから36型ワイドカラーテレビ	22
20. 小型カラーテレビと複合商品	23
21. VHS方式ビデオの誕生から多機能化	24
22. Hi-FiビデオからW-VHSまで	25
23. セパレートポータブルとビデオカメラ	26
24. GR-C1から始まったカメラ一体型へ	27
25. GR-DV1から始まったデジタルムービー	28
26. デジタルムービーの進化	29
27. U-VCR規格ビデオ	30
28. VHS-BRシリーズ他	31

ご挨拶

平成16年5月18日、大和工場第6棟1F(旧技術ビル)に「ビクター音と映像の保存庫」がオープンいたしました。

オープンのきっかけは、協力会社として永年当社の発展にご協力をいただいた「株式会社湘南」の代表取締役「稲葉全彦」様が長年個人で収集された商品約300点をご寄付いただいたことにあります。

稲葉様は長野県白馬村に私財を投じ、昭和を代表する蓄音機・テレビ・ビデオカメラ等を収集されており、平成3年より「昭和の音と映像の保存庫」として運営されていました。その名称の一部を頂戴して「ビクター音と映像の保存庫」と名付けさせていただきました。

お陰様で開設後は予想以上の反響をいただき、噂を聞いたOBやビクターファンの方より、「蓄音機」「白黒テレビ」「真空管ステレオ」の戦前戦後の名機と評価された商品を今日までに150点程 ご寄贈いただき、社外の方にもご覧いただけるほどに内容は充実してまいりました。

当初は新入社員の教育や、若い技術者達に対するモチベーションアップ、又海外のお客様にJVCの歴史を伝える目的でスターしましたが、時の経過とともに、県内や大和市の行政関連からの見学希望者や各種のイベント会場よりの貸し出し要請も増えつつあります。

開館後4年が経過し展示内容が充実してきたことと、様々なビジネスニーズに対応する為に、事前打ち合わせ用のビジュアルな資料も必要となりましたので、簡単な展示品カタログを作成いたしました。

なお当館アドバイザーの手作り資料を活用しましたので、お客様に差し上げるほどのレベルには達しておりませんが、型名と商品をご理解いただくための補助資料として社内で活用いただくことを前提に作成いたしております。

状況をご賢察いただき有効な活用をお願いします。

平成20年7月

人事部

「音と映像の保存庫」

責任者 坂口 寿仁

ビクターマークの由来と秘話

ビクターマークの原画は**1889年**にイギリスの画家フランシス・バラウドによって画されました。兄が亡くなったので愛犬の「ニッパー」は弟の画家**バラウド**に引き取られました。その時に家にあった「**エジソン方式の蓄音機**」で生前兄の声を吹き込んだレーコードをかけたら、そばに寄ってきた「ニッパー」がけげんそうに耳を傾けて「主人の声」を聞き入りました。その姿に感動して一枚の画に仕上げた事がビクターマーク始まり

幻の原画は1889年作成
原画は1889年エジソン方式の蓄音機で描かれました。10年後の**1899年2月**に英国コロンビア(グラフホン系)にその画を提案するも不採用となりました。
その時のタイトルは次のようでした
Dog looking at and Listening to phonograph

この写真はWebサイトの写真を使用しました



ビクターマークの誕生は

1899年

英グラモホン「オーエン総師」に原画を提案し、ベルリーナ方式の蓄音機に書き換え**1899年10月**タイトルも

His Master's Voice と変更して採用されました。

(当初は宣伝ポスターで使用)

1年後「米ビクター・トーキングマシン社」が商標登録しました。

英国グラモホンはエンゼルマークが既に所有の為HMVのブランドで使用し、後



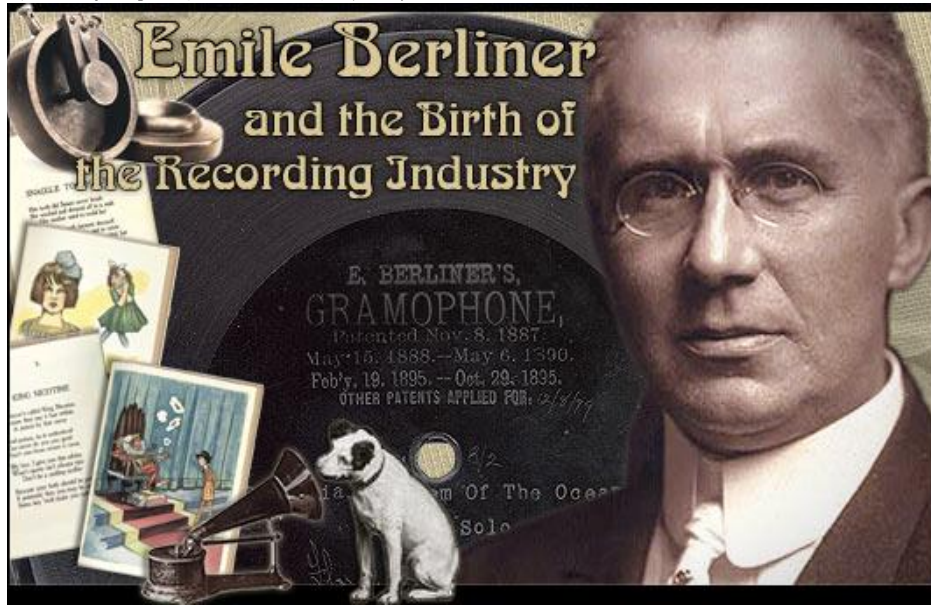
日本ビクターとして、公の資料としてはこのような表現はありませんが、元「ビクター人材開発センター」が昭和62年発行の「音の歴史とビクター」で案内されております。

本件は蓄音機マニアのHPでは常識の事実でもあります。当時よりシリンダーと平円盤の方式競争があった事を後世に伝えと共に、併せて犬のマークが音の歴史に果たした役割と功績を思い起こしながら、カタログ掲載の商品をご覧頂ければとの願もあってご案内いたします。

レコードの父 ベルリーナー

1887年「エミール ベルリーナー」は「エジソン」のシリンドー式蓄音機（フォノグラフ）に対抗して平円盤式レコードを発明し、この方式の蓄音機をグラモフォンと名づけた。これが現在のレコードの原型となりました。

「ウェブサイト公開の写真を掲載してます」なお写真の人物が英国グラモフォンのW・B・オウエン総司になぜかにておりますが？



テレビの父 高柳健次郎先生

昭和36年5月20日スイスで開かれた第1回国際テレビ祭り」にて高柳先生が世界の6人に選ばれて表彰された事と2ヘッドVTRの開発を訴求した他社に見られないビクターの広告です。◎朝日新聞昭和36年8月6日（クマ）

【全面広告】 昭和36年8月8日 火曜日 第1回国際テレビ祭り

第1回国際テレビ祭りで世界のテレビ界に貢献した六人の技術者の一人として表彰された高柳健次郎を中心とするビクター電子技術の結晶！

この高柳健次郎を指導者とする、ビクター技術グループの、世界的テレビ技術を開発して来られたビクターテレビこそ、あらゆる面であなたに満足いただけるテレビです。

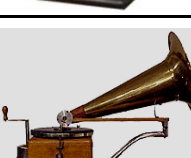
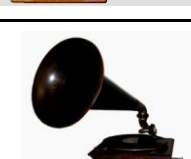
テレビ界に最も重要な功績を挙げた高柳健次郎先生は、去る五月二十日、スイスで開催された、第一回国際テレビ祭りで世界の技術者の一人として表彰された。同シンポジウム（学会）で、テレビ技術の発展について世界的研究員、ヘッド式ビデオレコーダーを開発した高柳健次郎先生を表彰しました。

● 1000ラインの超高解像度を実現したテレビ！
● 画面は、AFT（自動調整）とAFC（自動調整）による完全自動調整
● 音は、大出力ワットの迫力あるHi-Fiトーン
● デザインは、豪華な調度品となる日本最初の14インチカラータイプ

新発売
UT-1000 価格 ¥ 56,500
UT-1000 価格 ¥ 63,700

日本のビクター・テレビ・ラジオ・オーディオ

1・オルゴールから蓄音機 平成20年版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		●シリンダー オルゴール	明治13年 頃 (1880) ?	ドラムを組合わせたオーケストラタイプ の中期モデルと推定・[メルモード フレール社]らしいが銘板なし	久里浜技研
2		●シリンダー オルゴール	明治13年 頃 (1880) ?	マークに「J-ROBINSON&SONS」と 記入されているが社名かどうか不明 シリンダータイプの上級機で8曲の曲 名表示プレートあり。	H19年3月 (JVC)
3		卓上オルガン ●紙腔琴	明治26年 頃 (1893)	手回し式オルガンの模倣品で、アメリ カより帰国した「戸田欽堂」により作ら れ、銀座十字屋楽器店で発売 (文 京区オルガンの博物館資料より)	久里浜技研
4		●ディスク オルゴール	明治33年 頃 (1900) ?	1886年頃にディスク型が登場するが 1920年頃に蓄音機との競争に敗れ る・展示品はアメリカ製のREGINAに 類似している(31cmディスク)	久里浜技研
1900年以降オルゴールに代わり蓄音機が新しい音楽文化の担い手となる					
5		蓄音機 ●エジソン・ スタンダードA	明治34年 (1901)	エジソンが蓄音機を発明して25年後 の量産モデル・現品はラッパが無く てペーパーホーンで代用中	久里浜技研
6		蓄音機 ●エジソン・ スタンダードD	明治41年 (1908)	トラッキング用ギヤーがマンドレール の横に設置され完成度の高い商品 (現品はラッパが欠落している)	H17年9月 (メ林間)
7		蓄音機 ●ペルリーナ トレードマーク	明治31年 (1898)	英国グラモホン蓄音機のレプリカ・・・ 「グラモホンモデルNo.2」とも表示・・・ 「亡き主人の声を聴く犬と蓄音機」の 絵画に登場しています。その後1910 年にHMVマークとしても残る	久里浜技研
8		蓄音機 ●VV-M \$50	明治35年 (1902)	1901年米国ビクタートーキングマシ ン社創立・展示品は創立2年目の製 品・グーズネックトーンアームが特徴 で大ヒット。・・・ 「Victor Talking Machine Company Camden NJ」の銘板あり	H17年9月 (メ林間)
9		ビクトロラ ●VV-IX \$40	明治39年 (1906)	ホーンを内部に収納・ビクトロラの愛 称で販売開始・・・・・・ホーンが上 部より消える・30cmターンテーブル・2 丁ゼンマイ・ホーンが木製となり音が 柔らかくなる。	久里浜技研

2・蓄音機の円熟期 平成20年版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		ビクトロラ ●VV-XIV \$ 200	大正4年 (1915)	コンソールタイプの初期モデルで時代の先端を行く高級機・2丁ゼンマイ・「No.2型サウンドボックス」使用・レコード収納棚つき	H18年3月 龍野 緑様
2		ビクトロラ ●VV-215 \$ 150 推定輸入価格 ¥300	大正12年 (1923)	横型フロアタイプ・ホーンの改良とサウンドボックスの進化で大音量の再生音を実現(H17年ゼンマイ交換).....1924年レコードの電気録音方式完成	工学博士 緑川弘毅様
3		ビクトロラ ●VV-4-3 \$85	昭和2年 (1927)	当初は米国ビクタートーキングマシン社で生産されましたが、後半は日本で組立てられました・30cmターンテーブル。(大卒初任給50円前後)	①H17年9月 (メ林間) ②H19年9月 橋本洋一様
4		ビクトロラ ●VV-1-90 ¥ 295	昭和2年 (1927)	「日本ビクター誕生」電気吹き込み時代になりSP盤もDレンジが広がり、これに対応した傑作・米国ビクタートーキングマシン社で生産され日本ビクターで販売の第一号機	JVC
5		ビクトロラ ●VV-1-90 ¥ 150	昭和3年 (1926)	日本ビクターで組立ようになり大幅に価格が下る。..... Victor Talking Machine Company Tokyo Japanの銘板あり	H17年1月 坂田小枝子様
「RCAビクター誕生」: 昭和4年(1929)2月米国ビクタートーキングマシン社はRCAに吸収されRCAビクターとして新たなスタートを切る					
6		ビクトロラ ●J1-80 ¥80	昭和5年 (1930)	日本国内で生産された最初の蓄音機で、総て国産の設計で製品化された	JVC
7		ビクトロラ ●J1-50 ¥45	昭和8年 (1933)	日本ビクターで設計された量産タイプで当時の初任給の8掛けで買えるまでにコストダウン	H18年6月 川井正一様
8		ポータブル・ ビクトロラ ●VV2-55 \$35 輸入価格¥140	昭和6年 (1931)	米国ビクタートーキングマシン社で生産され輸入されたようです。当時の輸入価格は¥140?(別資料で発見).....当時の大卒初任給は55円～約60円	工学博士 緑川弘毅様
9		ポータブル・ ビクトロラ ●J2-7 ¥70	昭和7年 (1932)	日本ビクターで設計されたポータブル蓄音機の第一号機。輸入品に比べ大幅のコストダウンを図る	H17年9月 (メ林間)

3・電気蓄音機からHi-Fiステレオ 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		エレクトロラ ●RE-48 ¥480	昭和12年 (1937)	RCAビクターの技術供与を受けて日本ビクターで生産された・マジックアイ付スーパーヘテロダイン方式ラジオ・PUはRCAコブラ型を採用・2A3のPP回路でHi-Fi設計(大卒初任給約60円)	(メ林間)
2		エレクトロラ ●V-170	昭和19年 頃 (1944)	RCAビクターの製品ですが年代は不詳です。真空管の6SA7GTや6H6等から昭和19年前後と推定	JVC
戦後復興と併せ本格的な電気蓄音機時代に入る					
3		レコードプレーヤ ●RP-6 ¥15,000	昭和27年 (1952)	手持のラジオに接続してSPレコードを聴く 	①PR-6 JVC ②7AW-1 稲葉全彦様
4		電気蓄音機 ●RE-30 ¥72,000	昭和28年 (1953)	3スピードタイプ電蓄の初期モデルで「円盤クラッチタイプ」のスピード切替え装置は貴重な存在(大卒初任給約7,700円)	H19年9月 高槻市 谷口芳雄様
5		電気蓄音機 ●RE-42 ¥41,700	昭和29年 (1954)	SP/LP/EP時代を先取りした3スピードタイプ・UZ-42で3Wの大出力 前年(28年)12月:EP盤国内生産第1号「ブルーカナリヤ」を発売	稲葉全彦様
6		ステレオ ●STL-1s ¥77,000	昭和32年 (1957)	国産初のステレオ再生装置・スピーカーセパレートタイプ・ST/LP/SP専用ヘッド方式・・・デモレコードで列車の通過を実演し音が移動する事を実演して啓蒙する	(メ林間)
7		ステレオ ● STL-10 ¥79,000	昭和34年 (1959)	皇太子ご成婚記年発売・ステレオ再生装置・3点一式タイプ・ST/LP/SP専用ヘッド方式(大卒初任給約11,000円)	JVC
8		ステレオ ●STL-5 ¥79,000	昭和34年 (1959)	パーフェクトピックアップ搭載第一号機 AMチューナー2台搭載・NHKが第1と第2放送局を利用してステレオ放送を時間限定で行った	JVC-OB 佐々木弘忠様
9		ホールステレオ ●STL-1001 ¥360,000	昭和34年 (1959)	ホール用に開発された超豪華ステレオ 外部スピーカ端子付き(BLA-1000)展示品はプレーヤ2台搭載に改造か? 同モデルは皇室にてもご愛用頂く	H19年4月 竹内佳治子様

4・アンサンブルステレオの黄金期 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		ステレオ ● SHF-503b ¥ 79,500	昭和35年 (1960)	SHF-503のモノラルタイプにBA-503を追加してステレオにシステムアップ オートチェンジャー採用	JVC
2		アンサンブル ●STL-400F ¥52,800	昭和38年 (1963)	アンサンブルの初期モデル AMチューナ2台搭載・3大技術搭載 (パーフェクトPU・エコー装置・スリー ピングスイッチ) FMチューナー採 用の初期モデル	H16年11月 JVC-OB 佐々木清一様
3		アンサンブル ●STL-320 ¥57,500	昭和38年 (1963)	アンサンブルの初期モデル AMチューナ2台搭載・3大技術搭載 FMチューナー搭載し総合出力15W パノラマSP搭載の初期モデル	JVC
4		アンサンブル ●STL-661FM ¥74,500	昭和39年 (1964)	モデルチェンジしない永遠のステレ オ第二弾……FMステレオ対応・総 合出力22W・発売後2年間で30万台 販売 (大卒初任給21, 500円)	①稲葉全彦様 ②森山 選様
5		アンサンブル ●STL-670M ¥69,800	昭和40年 (1965)	愛称「孔雀」・FMステレオ対応・セラ ミックPU……11球11石使用で総合 出力30W	JVC
6		アンサンブル ●STL-1200 ¥198,000	昭和41年 (1966)	オールトランジスター採用・総合出 力50W……40cmウーハー採用で重 低音を再現	H18年3月 原田朝康様
7		アンサンブル ●STL-595M ¥ 64,800	昭和41年 (1966)	アンサンブルステレオの終焉期モデ ル 密閉バッフル……総合出力 20W……(大卒初任給24, 500円) // 同時 代は小型ステレオが初任給で買える価格帯 の2極化が進む	H17年6月 横関友三郎様
アンサンブルからセパレートステレオ時代へ そして4チャンネルステレオに進化					
8		セパレート ● SSL-55TS ¥97,000	昭和43年 (1968)	通産省のGマーク選定・オールラン ジスター・OTL回路……SEA内臓……ソ リッドステートカートリッジ針圧1.5 g……総合出力44W(大卒初任給29,000 円)	H18年4月 磯 勝彦様
9		セパレート ●DF-11DX ¥ 209,000	昭和48年 (1973)	4チャンネルの量産モデル・セパレー ト初のストロボT/T採用 ……総合出 力10W×4 (大卒初任給57,000円)	①H17年4月 加藤憲治様 ②H18年6月 大矢嘉行様

5・システムコンポからミニコン 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
単コンのセット販売時代到来・CREATEのネーミング登録は昭和50年に申請					
1		システムコンポ ●CREATE-D55 ¥276,300	昭和51年 (1976)	「人気単コンの組合せ」アンプ部 JA-S35をJA-S31に入れ替えした 出力43W+43W・「D55シリーズの変 形タイプ」 本体価格187,000+ラック価格29,500	稲葉全彦様
2		ミニ コンポ ●DC-5500 ¥166,000	昭和62年 (1987)	「組合わせ固定タイプ」・CDプレー ヤーとレコードプレーヤーの両方を 搭載・・・出力60W+60W (大卒初任給148,000円)	JVC
3		ミニ コンポ ●MX-A1 88,000	平成3年 (1991)	レコードプレーヤーが外される・これ により小型化が進む・小型化により パワー競争が一段落・出力 30W+30Wで手ごろな価格となる	JVC
4		ミニ コンポ ●DC-R7 ¥188,000	平成3年 (1991)	ミニコンはアンプの高級化が進みDAC内 臓アンプが登場 総合出力150W・・・市 場では高級路線を支持するマニア層は 健在であるが量的に減少傾向が現れ る。 (大卒初任給179,000円)	H16年12月 坂口久仁様
5	昭和62年でCDレコード生産がLPレコードを追い越す..... ①ミニコンポ市場は昭和62年以降のLPレコード衰退によりレコードプレーヤーが不要となる。 ②平成1年CD内臓ラジカセの登場で高級ミニコンの市場は大幅に減少する				
6		卓上ステレオ ●STL-163F ¥24,700	昭和41年 (1966)	アンサンプルステレオの小型版・・・ 卓上ながら迫力あるサウンド・FM用 に高感度真空管採用・3スピードプ レーヤー・・・初任給で買える価格で1家 に1台時代に入る	稲葉全彦様
7		卓上ステレオ ●MK-22 ¥37,800	昭和53年 (1978)	「マイボーイ」・カセットデッキが内臓 されレコードの録音も可能・マイクミ キシングにも対応・・・中学生・高校生の 合格祝い需要対応(大卒初任給105,000円)	H16年10月 榊 哲郎様
8					
9					

9・単コン時代のオープンデッキとカセットデッキ 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		4チャンデッキ ●MTR-10M ¥79,800	昭和45年 (1970)	MCSSシリーズステレオに組込んで4チャンネルステレオを再生 録音は2チャンネル4トラック	JVC
2		ステレオデッキ ●TD-696 ¥47,000	昭和48年 (1973)	3スピード4トラックデッキ・テープ速度(19cm/9.5cm/4.75cm)	JVC
3		ステレオデッキ ●TD-4000A ¥119,800	昭和52年 (1977)	3モーター・4トラックデッキ・テープ速度(19cm/9.5cm)・10号テープ対応 … (38/2トラックではありません)	稲葉全彦様
カセットテープの磁性体改良で単コン用カセットデッキ登場					
4		カセットデッキ ●CCP-624 ¥39,800	昭和43年 (1968)	フラットタイプ⇒ステレオカセットデッキの初号機でシンクロナスマーター採用・マイク端子付き・	土井茂紀様
5		カセットデッキ ●KD-656 ¥46,800	昭和49年 (1974)	フラットタイプ⇒ANRS搭載のローコストタイプ・メカロジックタイプ・クロームテープ対応	稲葉全彦様
6		カセットデッキ ●KD-669S ¥118,000	昭和50年 (1975)	フラット⇒ANRS内臓の2モーターでIDメカニズム採用・最高級デッキ・オープンデッキに勝る周波数特性・先行機KD-669にSAヘッド搭載	
7		カセットデッキ ●KD-D31 ¥59,800	昭和50年 (1975)	バーチカルタイプの初期モデル⇒単コンとの組み合わせで販売	①阿部良三様
8		カセットデッキ ●KD-01 ¥42,800	昭和51年 (1976)	「クリエイイトD1」の組込みで発売・5点ピークインジケーターつき・JA-S11のデザインに合わせる	
9		カセットデッキ ●KD-35 ¥59,800	昭和51年 (1976)	「クリエイイトD55」の組込みで発売・5点ピークインジケーター採用・JA-S41/JA-S31のデザインに合わせる	JVC

14・CDラジカセと隙間商品

平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
ラジカセにCDプレーヤーを搭載しミニコンとの境界が消える					
1		CDラジカセ● RC-X50 ¥42,400	平成1年 (1989)	8cmCDシングル対応・Gホーン搭載	JVC
2		CDラジカセ● RC-GX7 ¥79,000	平成2年 (1990)	CDグラフィックスカラオケ対応・ 3W+3Wの出力・電子エコー・マイク2 系統	①石塚 勝様 ②臼杵謙介様
新しいフォーマットで7.2cm×6.8cm角のカードケースのデスクが登場					
3		MDレコーダー ●XM-D1 ¥99,800	平成6年 (1994)	MD録音機・MD初のカタカナ入力と ジョグダイヤル採用・光デジタル&ア ナログ入力端子付き・DX-1との 組合わせで販売	
4					
時計つきラジオ					
5		時計付きラジオ ●TC-32 ¥15,800	昭和50年 (1975)	FM/AM 2バンドにデジタル電気時 計を組合わせ・24時間アラームタイ マー付き	小林武雄様
6		時計付きラジオ ●FQ-1 ¥15,800	昭和55年 (1980)	FM/AM 2バンドにクォーツロック時 計を組合わせる・目覚ましアラーム	西野保夫様
7					
ファッションラジカセ発売					
8		ふりふりQタイ プラジカセ ●CR-880	年代不詳	サンプル生産と推定され、発売され た形跡がない	阿部良三様

15・録音機の変わり種 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
レコードプレーヤーを利用した円盤型録音機					
1		マグナファックス ●MDR-1 ¥ 33,600	昭和34年 (1959)	「円盤型録音機」電蓄に円盤録音機を組み合わせる。日本舞踊や詩吟等の稽古用に利用され又LL機として英会話学習にも利用される。…後継機MDR-2で終了する	①出口 章様 ②太田一穂様
米国リアジエット社と契約・・・8トラックデッキ・カーステレオに進出					
2		8トラック・デッキ ●CHR-100 ¥16,500	昭和42年 (1967)	「エンドレステープ再生機」カーステレオ進出と併行し新しいタイプのテープ再生機発売・ 8トラック4プログラムで最大1時間20分の連続演奏再生	稲葉全彦様
3		8トラック 録/再デッキ ●CHR-250 ¥39,800	昭和44年 (1969)	業界初の録音機能を搭載・・・セパレートステレオのデッキとしても利用される	稲葉全彦様
4		8トラック・カラオケ ●K-55 II ¥ 59,800	昭和57年 (1982)	「昭和56年頃ホームカラオケ始まる」 ホーム用カラオケ機第2弾・・・8トラックプレーヤーとカセットデッキの組み合わせ・15W出力	稲葉全彦様
5		8トラック・カラオケ ●K-800	昭和59年 (1984)	「ダブルカセット+8トラックプレーヤー」の高級カラオケ機・出力40W・VHDカラオケにも対応して音声入力端子装備	平成17年 高木博之
6		8トラック・カラオケ ●K-750	平成3年 (1991)	「参考案内」・・・終焉の機種・・・ カラオケ市場で貢献した8トラックデッキも映像カラオケとの競争に敗れ10年間の歴史を閉じる	展示なし・・・ 募集中
7					
参行出品					
8		レコードカッテ ン グマシン ●E-101	調査中	VANROCK製・ラッカ盤にカッテング録音できる珍しいマシン	稲葉全彦様

16・白黒テレビのスタート 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
昭和14年5月NHKでテレビジョンの実験放送に成功(高柳健次郎先生を中心に推進)					
1		12型テレビの 模型	昭和14年 (1939)	「反射型テレビのレプリカ」・・・国産 第一号テレビで翌年の昭和15年10 月にNHKと軍部に納品されました	H18/12 八王子社研
2		14型テレビ ●TX-1421A ¥ ???	昭和24年 頃 (1949)	フィリップス社製・・・この当時は NHKの電波もなく実験用として輸入 したと推定・6チャンネルチューナー (昭和25年高柳先生は取締役技師長として テレビ生産への準備開始)	久里浜技研
昭和26年11月NHKがテレビジョンの定時実験放送開始(s28/2本放送)					
3		17型テレビ ●17TV-150	昭和31年 (1956)	17TV-701型の後継機モデルで11 チャンネル受信にグレードアップ(高 圧整流に1B3GT使用)	H18/12 八王子社研
4		14型テレビ ●14T-160 ¥ 79,800	昭和31年 (1956)	電波感度に合わせるAGC回路の採用 で安定した受信・街頭テレビの時代	H18/12 八王子社研
5		14型テレビ ●14T-380 ¥ 69,500	昭和33年 (1958)	「プロレス放送全盛時代」 AGCス イッチ付き・ この時代からインチ表示が 禁止される	H18/7 登内新作様
昭和34年4月皇太子様ご成婚・・・テレビ、洗濯機、冷蔵庫が3種の神器となる					
6		14型テレビ ●14T-200 ¥ 63,500	昭和35年 (1960)	「大卒初任給の約5倍時代」・・・ 皇太子ご成婚後のヒット商品・・・ABC システム(猫の目)付き・・・PU端子付 き (大卒初任給は約12,900円)	H18/12 八王子社研
7		14型テレビ ●14T-510 ¥ 62,800	昭和36年 (1961)	コンソールタイプの初期モデ ル・・・ビクター独自の技術猫の 目採用・オーディオ用スピーカー3個 搭載・PU端子付き	稲葉全彦様
8					

17・白黒テレビ発展型 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		4型テレビ ポータブル ●4T-20 ¥48,000	昭和37年 (1962)	[世界最小4型トランジスターテレビ] 初任給17,700円の時代で一般には 高値の花	稲葉全彦様
2		19型テレビ ●19ST-5 ¥129,000	昭和38年 (1963)	白黒テレビ+ステレオの複合商品 ステレオとの組み合わせで差別化・ 4スピーカー密閉バッフル・FMモノラ ルチューナー	H16/12 貝塚由明様
高感度テレビの登場					
3		12型テレビ ●12T-47 ¥46,800	昭和42年 (1967)	[高感度パーソナルテレビ] 八丈島で東京の民放を受信した高 感度テレビ・・・初任給26,200円・・・こ の時代カラー普及率推定4%	稲葉全彦様
4		16型テレビ ●16T-505 ¥49,800	昭和43年 (1968)	[高感度パーソナルテレビ]	H17/8 小林武雄様
カラーテレビの棲み分時代・・・ファッションテレビ登場					
5		9型テレビ ●9T-11 ¥38,000	昭和46年 (1971)	[ファッションテレビ]球形テレビ(赤) /球形テレビ(緑)/球形テレビ(白) 初任給29,500円の時代にパーソ ナル商品としては価格が高く需要層は 限定される	①稲葉全彦様 ②工藤昌久様 ③大和総
6		9型テレビ ●JVC-3241 ¥	昭和47年 (1972)	[ファッションテレビ] カラーTVと棲み分けを狙う・球形テ レビ(白)+タイマー付き・・・JVCブラ ンド	藤城麗嗣様
7		9型テレビ ●7T-O3R ¥49,800	昭和49年 (1974)	[ファッションテレビ] カラーTVと棲み分けを狙う・ラジオ内 蔵三角錐テレビ	藤城麗嗣様
8					

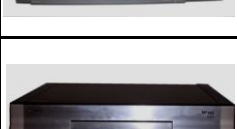
18・白黒テレビの終焉 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		5型テレビ ●5T-22 ¥ 22.800	昭和48年 (1973)	テレビも1家に2台の時代に……「フリフリ5」 ICトランジスター採用・交直両用	稲葉全彦様
2		5型テレビ ●5T-24V ¥ 24.200	昭和49年 (1974)	「フリフリ5」 ICトランジスター採用・交直両用 UM-1×9	
3		5型テレビ ●5T-26V ¥ 23.800	昭和51年 (1976)	「フリフリ5」 ICトランジスター採用・交直両用 UM-1×9 赤と黒の2色展開	稲葉全彦様
4					
5					
カラーTV時代……白黒TVは複合商品で生き残りをはかる					
6		3型ポータブル テレビ ● M-77 ¥ 67.800	昭和51年 (1976)	[業界初] 聞く・見る・録る＝1機3役 白黒テレビに5バンドラジオとカセット を組み込んだ複合商品・2電源(UM- 1×6)・重量5.1kg	稲葉全彦様
7		3型ポータブル テレビ ● M-5 ¥ 47.800	昭和51年 (1976)	聞く・見る＝1機2役 5バンドラジオとテレビの複合機・2電 源(UM-1×6)重量2.7kg	デザイン部
8		2.5型ポータブル テレビ ● P-100 ¥ 52.000	昭和53年 (1978)	白黒テレビ終焉期のヒット商品 FM/AMラジオと2.5インチ白黒テレビ の複合機	①稲葉全彦様 ②鈴木英雄様 ③臼杵謙介様
9					

21・VHS方式ビデオの誕生から多機能化 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		VHSビデオ ●HR-3300 ¥256,000	昭和51年 (1976)	「VHSビデオの初号機」録画時間2時間とテープの互換性が設計のコンセプトで開発・・・ビデオタイマーは別売(RT-3300: ¥10,000)	稲葉全彦 様
2		VHSビデオ ●HR-3300 ¥256,000	昭和51年 (1976)	「HR-3300のシステムアップ」・・・タイマー組み込価格¥266,000	①武藤利秋様 ②JVC
3		VHSビデオ ●HR-3750 ¥268,000	昭和54年 (1979)	「音声2チャンネルトラック初号機」音声多重録音と可変速スロー再生を実現・カメラ端子付き・アフレコ機能	
4		VHSビデオ ●HR-6500 ¥215,000	昭和55年 (1980)	「4ヘッド6時間ビデオ第2弾」「簡易インサート+アフレコ機能付き」2週間8プログラム予約タイマーつき。(モノラル録音)	稲葉全彦 様
5		VHSビデオ ●HR-7650 ¥268,000	昭和56年 (1981)	「音声2チャンネルトラック搭載」「4ヘッド8時間ビデオ」+「フロントローディング方式採用」・インサート機能付き 2週間8プログラム予約タイマー	稲葉全彦 様
6		VHSビデオ ●HR-7300 ¥188,000	昭和56年 (1981)	「4ヘッド8時間ビデオ」見たいシーンが素早く探せるシャトルサーチ機能搭載・同時期T-160(¥5,300)発売	
7		VHSビデオ ●HR-7100 ¥139,800	昭和57年 (1982)	「カラーボタン採用」「4ヘッド8時間ビデオ」女性デザイナーによる原色デカ釦の採用で使い易さを追求・・・2週間8プログラムタイマー付き	稲葉全彦 様
8		VHSビデオ ●HR-D725 ¥298,000	昭和58年 (1983)	「ステレオHi-Fi ビデオの初号機」TV番組とFM放送が同時に録れるサイマル記録・・・ノーマル音声トラックにも2CH録音を追加。	稲葉全彦 様
9					

22・Hi-FiビデオからW-VHSまで 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		VHSビデオ ●HR-D220 ¥ 158,000	昭和58年 (1983)	「4ヘッド8時間・モノラル」録画予約 が簡単にできるガイドライン付予約 タイマー搭載	
2		VHSビデオ ●HR-D250 ¥ 149,000	昭和60年 (1985)	「4ヘッド8時間・モノラル」画面のブレ やバーノイズのないファインスロー ビデオ 着脱式リモコン採用	
3		VHSビデオ ●HR-D755 ¥ 239,000	昭和60年 (1985)	「ハイクオリティー・Hi-Fiビデオ」… 38-2トラのオープンデッキに匹敵す る録音特性がオーディオマニアに支 持されデッキ代わりにも利用される	田中義輝 様
4		VHSビデオ ●HR-D470 ¥ 198,000	昭和60年 (1985)	「ハイクオリティー・Hi-Fiビデオ」 「Hi-Fiビデオ」唯一のサイドローディ ング方式・横幅31.5cmの横幅を実 現・単コンAMPとセット利用が便利に なる。	稲葉全彦 様
5		S-VHSビデオ ●HR-S7000 ¥ 220,000	昭和62年 (1987)	「S-VHS方式Hi-Fiビデオ登場」 水 平解像度400本以上の高画質を実 現音声Hi-Fi録音の両立	稲葉全彦 様
6		S-VHSビデオ ●HR-SC1000 ¥ 175,000	平成1年 (1989)	「S-VHS方式Hi-Fiビデオ」+「Cカセ 対応」 FCコンパチビデオ マルチ フォーメーショントレイ方式でアダプ ター無しでVHS-Cカセットも再生可 能	
7		VHSビデオ ●HR-FC500 ¥ 108,000	平成2年 (1990)	「VHS方式Hi-Fiビデオ」+「Cカセ対 応」 VHSとVHS-CのFCコンパチビ デオ・(S-VHSの録画不可)	
8		S-VHSビデオ ●HR-S10000 ¥ 300,000	平成1年 (1989)	「S-VHS方式Hi-Fiビデオ」 高精 度電子編集機能…フライングEヘッ ド搭載で高速イレース、ダイレクト・ シャトルイン・キャラクタージェネレー ター内臓	
9		W-VHSビデオ ●HR-W1 ¥ 620,000	平成6年 (1994)	「S-VHSビデオ」+「HDモード搭載」 ハイビジョン放送の録画・再生に加 えてS-VHSやVHSにも対応	①ILAセンター ②ビクターアイ レック(株)

23・セパレートポータブルとビデオカメラ 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1	 チューナー別売	VHS ポータブル VCR ●HR-4100 ¥248,000	昭和53年 (1978)	「VHSポータブル第一弾」・発売時はGC-3350の組合わせで販売・世界初の家庭用ポータブルで55万円を切って登場(組合せ質量13.5kg)	稲葉全彦 様
2		VHS ポータブル VCR ●HR-2200 ¥188,000	昭和55年 (1980)	「シャトルサーチ採用」「2時間ビデオ」・GX-V6(カメラ)との組合せで7.75kg(バッテリー含む)	稲葉全彦 様
3		VHS ポータブル VCR ●HR-2650 ¥208,000	昭和57年 (1982)	「4ヘッド8時間ビデオ」「音声2チャンネル」GX-S9(カメラ)との組合せで8.0kg・TU-26(チューナー)と組合せてステレオ放送録音	稲葉全彦 様
4		S・VHS ポータブル VCR ●BR-S400 ¥300,000	昭和63年 (1988)	業務用ポータブル「S-VHS方式」VCR	稲葉全彦 様
5		VHS-C ポータブル VCR ●HR-C3 ¥153,000	昭和57年 (1982)	業界初のVHS-Cタイプ グッドデザイン大賞受賞 本体+カメラで3.68kg GZ-C3 ¥178,000 	稲葉全彦 様
6		VHS-C ムービーコンポ ●SC-F100 ¥208,000	平成3年 (1991)	「ムービーコンポ:フルシステム」「S-VHS-Cデッキ+カメラ+モニター+チューナー+バッテリー」が基本組合せ・展示はカメラ(SC-C01:¥68,000)が欠落しています。(本体+カメラで720g)	稲葉全彦 様
7		カラーカメラ ●GC-3350 ¥298,000	昭和52年 (1977)	「国内最初の家庭用ビデオカメラ」1.5型電子ビューファインダー付きで質量3.3kg・・・6倍ズーム・・・2/3吋ビジコン2管式・・・	
8		カラーカメラ ●GX-V8 ¥193,000	昭和55年 (1980)	「1.5型電子ビューファインダー付」撮像管も小さく性能も向上し質量1.95kg・6倍ズーム・2/3吋ビジコン方式	
9		カラーカメラ ●GX-V10 ¥188,000	昭和57年 (1982)	「1.5型電子ビューファインダー付」本体質量1.38kgのコンパクト設計/6倍ズーム・・・2/3型ビジコン方式	

24・GR-C1から始まったカメラ一体型へ 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		VHS-C ビデオムービー ●GR-C1 ¥288,000	昭和59年 (1984)	「VHS-C一体型ムービー初号機」 ビューファインダー着脱可能・6倍 ズーム・最低照度15Lux・1/2型サチ コン・録画時間20分・本体質量量 1.9kg	松月 様
2		VHS-C ビデオムービー ●GR-C2 ¥299,000	昭和59年 (1984)	「VHS-C一体型ムービー第2弾」 オートフォーカス・オートフェーダー機能	稲葉全彦 様
3		VHS-C ビデオムービー ●GR-C7 ¥245,000	昭和61年 (1986)	「CCD単版撮像素子」高感度設計 本体質量1.3kg・最低照度15Lux・3 倍モード60分撮影	①藤城麗嗣様 ②田中義輝様
4		VHS-C ビデオムービー ●GR-C9 ¥148,000	昭和61年 (1986)	「世界最小・最軽量」録画専用ビデ オムービー・パームフォーカス方式・ 3倍モード60分撮影・本体質量750g	稲葉全彦 様
5		S-VHS-C ビデオムービー ●BR-S20 ¥250,000	昭和62年 (1987)	「S-VHS-Cビデオムービー初号機」 GR-S55のJVCモデル 33万画素CCD水平解像度420本	
6		VHS-C ビデオムービー ●GR-25 ¥178,000	昭和63年 (1988)	マクロ付6倍パワーズーム	
7		VHS-C ビデオムービー ●GR-A30 ¥106,000	昭和63年 (1988)	世界初フルレンジAF搭載 1.5cmか ら無限大までジャストフォーカス	
8		S-VHS-C ビデオムービー ●GR-S707 ¥280,000	平成1年 (1989)	S-VHS-C ステレオ Hi-Fi	稲葉全彦 様
9		S-VHS-C ビデオムービー ●GR-LT90 ¥175,000	平成3年 (1991)	S-VHS-C ステレオ Hi-Fi カートリッジリモコン(ワイヤレス)付	

25・GR-DV1から始まったデジタルムービー 平成成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		デジタル ビデオムービー ●GR-DV1 ¥220,000	平成7年 (1995)	デジタル(DV)ビデオムービーの初 代モデル 世界最小・最軽量(当時)本体約450 g	荒木博 様
2		デジタル ビデオムービー ●GR-DV1LTD ¥	平成8年 (1996)	キット同梱・シャンパンゴールド仕様 のGR-DV1の限定モデル	
3		デジタル ビデオムービー ●GR-DVM1 ¥230,000	平成9年 (1997)	世界初の高照度・高画素液晶モニ ター(当時)を搭載	
4		デジタル ビデオムービー ●GR-DVL ¥240,000	平成9年 (1997)	200倍デジタルズーム 水平解像度500本を実現	
5		デジタル ビデオムービー ●GR-DVL700 ¥オープン価格	平成7年 (2000)	68万画素CCD搭載キメ細かく色鮮 やかで水平解像度500本を実現	
6		デジタル ビデオムービー ●GR-DV 3500 ¥オー プン価格	平成12年 (2000)	F1.5の大口径レンズと133万画素CC Dでクラス最高水平解像度(540本) を実現	(ビ品保)サ技
7		デジタル ビデオムービー ●GR-DVP3 ¥235,000	平成13年 (2001)	利き手を選ばず左右どちらの手でも 操作が出来るユニバーサルデザイ ン	
8		デジタル ビデオムービー ●GR-D230 ¥オープン価格	平成16年 (2004)	USB動画転送 メモリーカード BU/BK/Si/Pinkのカラーバリ エーション	
9		デジタル ビデオムービー ●GR-HD1 ¥オープン価格	平成12年 (2000)	ハイビジョンビデオカメラ 世界初の Mini・DVテープにデジタルハイビ ジョン映像の記録再生を実現/3.5型 液晶	①(ビ品保)サ技 ②(AVC)

26・デジタルムービーの進化 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
1		デジタル ビデオムービー ●GR-DVF202 ¥オープン価格	平成13年 (2001)	通信販売専用モデル	JVC
デジタルビデオカメラは「DVテープ方式」「HDD方式」「8cmDVD」「SDカード」の4方式 共存時代に突入しました・・・ビクターは前者2方式					
2		ハードディスク ムービー ●GZ-MC100 ¥オープン価格	平成16年 (2004)	記録方式に超小型ハードディスクを 採用し、本体質量245gを実現 現在の主流となったハードディスク ムービーの先駆けとなった	JVC
3		ハードディスク ムービー ●GZ-MC200 ¥オープン価格	平成16年 (2004)	記録方式に超小型ハードディスクを 採用 ハードディスクムービーの先駆けと なる	JVC
4					
5					
6					
7					
8					
9					

27・U-VCR規格ビデオ 平成成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
	U-VCR	昭和46年10月「松下電器」「ソニー」「ビクター」の3社でクロスライセンスの契約に基づき規格統一を実現			
1		3/4吋U-VCR ●CR-6000 ¥33,8000	昭和46年 (1971)	「U-VCR規格」第一号機・録再用デッキ・ テープ: KCA-20/KCA-30/KCA-60	稲葉全彦様
2		3/4吋U-VCR ●CR-6300 ¥445,000	昭和49年 (1974)	「U-VCR規格」・録再用デッキ RF コンバーター内臓・CMカット	稲葉全彦様
3		3/4吋U-VCR ●CR-8300L ¥1,555,000	昭和52年 (1977)	「U-VCR規格」放送業務用デッキ・高速頭出しとインサート編集の電子編集機・ローラックにCR-8300も同時発売・コントロールユニットはRM-83・RCA社とアンペックス社通じて米国市場に供給された	稲葉全彦様
4		3/4吋U-VCR ●CR-8500L ¥1,800,000	昭和53年 (1978)	「U-VCR規格」放送業務用デッキ・正逆両方向2倍速再生&スチール/スロー再生・コントロールユニットRM-85	JVC
5		3/4吋U-VCR ●CP-5500 ¥520,000	昭和55年 (1980)	「U-VCR」ダビング用再生専用機・オートリピート機能・タイムベースコレクター接続可・RM-82+CR-8200とセットで編集作業に活躍	稲葉全彦様
6		3/4吋U-VCR ●CR-8200 ¥980,000	昭和55年 (1980)	「U-VCR」電子編集機・シャトルサーチを可能にする・RM-82	稲葉全彦様
7		3/4吋U-VCR ●CR-850 ¥1,600,000	昭和61年 (1986)	U-VCRエディティングレコーダー・展示はありませんがシリーズ最後のモデルにつき参考紹介・・・BR-S810に類似しているので混同しないように・・・	展示なし・・・ 募集中
8		3/4吋U-VCR ポータブル ●CR-4400L ¥850,000	昭和51年 (1976)	U-VCRタイプポータブルの第2弾・RCA社やアンペックス社とOEM契約を結び米国市場に供給された	稲葉全彦様
9		3/4吋U-VCR ポータブル ●CR-4700L ¥980,000	昭和58年 (1983)	U-VCRタイプポータブル/録画中に再生画像のモニターが可能・テープはKCS-20使用	稲葉全彦様

28・VHS-BRシリーズ 他 平成20年度版

No.	写 真	商品名 型 名 L/P	発売年	商品の特徴・時代背景	寄贈者
	BRシリーズ	VHS方式の業務用レコーダー VHS方式の業務用電子編集機			
1		VHSプロ機 ●BR-6400 ¥350,000	昭和56年 (1981)	業務用の第1弾……VHS規格のプロ仕様機・RM-P54……音声2チャンネル・録画機能付き(再生専用機でCP-5000あり)	稲葉全彦様
2		VHSプロ機 ●BR-6400TR ¥350,000	昭和56年 (1981)	VHS規格のプロ仕様機 ・フロントブラックタイプ……JVCブランド・音声2チャンネル	稲葉全彦様
3		VHSプロ機 ●BR-6401TR ¥500,000	昭和61年 (1986)	VHS規格のプロ仕様編集機……トリプルタイプ 参考資料	展示なし
4		VHSプロ機 ●BR-8600 ¥550,000	昭和58年 (1983)	VHS規格のプロ仕様・電子編集機能付・RM-86・音声2チャンネル	稲葉全彦様
5		S-VHSプロ機 ●BR-S810 ¥700,000	昭和63年 (1988)	S-VHS規格のプロ仕様電子編集機・音声回路Hi-Fi 2チャンネル対応	稲葉全彦様
6					
	VHS-C	カメラの一体型			
7		S-VHS-CVTR +カメラ ● GY-X1TC ¥1,150,000	平成2年 (1990)	プロ用一体型ビデオカメラ……①VTR:S-VHS-Cタイプのデッキ ②カメラ:1/2吋36万画素3CCD・14倍ズームレンズ	杉崎司郎様
8					
9					